**2025年度アガペ保育園事業計画**

　**理念の聖句**：「ひかりの子として歩みなさい」 ～エフェソ5:8～

 【　理念　～どのような子どもの育ちを願うのか～】

　「自己肯定感がもてるこども」自分がそのままの自分でいいと思う心を持ち、受け入れられる経験を積み重ね、互いに受け入れ、共に生活し、豊かな関わりを通して自己肯定感がもてるような保育を目指す。

**保育目標**

・感謝する心・共に育つ力・個性を認め合う生活

　私たち一人一人が神さまに愛され、受け入れられていることを知り、子ども達をしっかりと受け止め、否定するような言葉を使わない保育を行う。そして、そのような保育をするにはどうしたらよいか自問自答を繰りかえしながら保育にあたる。

　**計画**

1-1キリスト教保育

・キリスト教保育を行なう施設で働く者として、関係教会の主日礼拝出席を重んじる。

・保育者の愛情ある関わりの中で、一人ひとりが安心して園生活を送れるようにする。

・月の聖句を園内研修で積極的に学び、子ども達と聖句を暗唱したり、礼拝参加・聖書のお話に親しむなど、心豊かな体験が出来る保育を行う。

・お祈りと賛美を通して目に見えないものを大切にする心を育てる。

1-2運営体制

 職員間の連携

・発達を考慮した異年齢の保育の充実をはかれるよう、話し合いを大切にする。

・共に尊重し支え合いながら、一人ひとりの良さを活かしたチーム保育を行う。

保護者支援

・日頃からコミュニケーションを大切にし、悩み事をを気軽に話してもらえるような、あたたかい雰囲気づくりに努める。

・子どもの成長を喜び合いながら共に祝う誕生会の行事参加・遊び参加・給食試食会を行い、家庭でも楽しめる遊びの提供・食育活動に繋がる支援を行う。

・週報で遊びや生活のドキュメンテーション・園内の黒板にはには子どもの写真や作品を掲示し、園での様子を伝えていく。

保育の質の向上

・園内研修の学び・保育の振り返りなど職員と共有し、日々の保育に活かしていく。

・外部研修など､職員が意欲的に自己研鑽して学べる機会を持てるようにしていく。

地域への発信

・園外保育・散歩を通して様々な世代の方と交わり、地域の方との繋がりを大切にする。

・子育て支援カフェと連携を取り合い、地域の親子と交流する機会を持つ。

・近隣の方のお宅を訪問し、行事を共に祝う機会を持つ。（クリスマス＝降誕）

ひかりの子・フリースクールこといろとの連携

・同じ学年の児や異年齢の児と交流できる機会を持ち、さまざまな人（友だち）と関わる機会を持つ。

 1-3保育内容

・0才児：安心できる大人との応答を大切にし、生理的な要求を十分に満たし、一人一人の生育歴の違いに留意しながら安定した状況の中で生活できる保育を行う。

・1・2才児：安心できる保育者の見守りの中で少人数・異年齢の友だちと関わり、「あそんでみたい][じぶんでやってみたい」という思いを大切にし、自主性が育まれる保育を行う。

・全身を使った運動遊びや音楽あそびを取り入れ、個々の運動機能の発達に繋がる保育を行う(キッズビクス・リトミック）。

1-4　保育環境

・身近な自然にゆったりと関わって遊べるように園庭の環境を日々整えていく。

・子どもが自ら工夫して遊べる環境を工夫し、コーナー遊びの充実をはかる。